

みずほCustomer Desk Report 2022/05/09 号 (As of 2022/05/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	130.53
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	130.34	1.0541	137.27	1.2363	0.7120
SYD-NY High	130.80	1.0598	138.15	1.2380	0.7135
SYD-NY Low	130.10	1.0483	136.76	1.2276	0.7059
NY 5:00 PM	130.53	1.0548	137.67	1.2339	0.7074
NY DOW	32,899.37	▲ 98.60	日本2年債	-0.0500	0.00bp
NASDAQ	12,144.66	▲ 173.03	日本10年債	0.2400	2.00bp
S&P	4,123.34	▲ 23.53	米国2年債	2.7339	2.44bp
日経平均	27,003.56	185.03	米国5年債	3.0782	7.33bp
TOPIX	1,915.91	17.56	米国10年債	3.1404	10.68bp
シカゴ日経先物	26,910.00	155.00	独10年債	1.1335	8.80bp
ロンドンFT	7,387.94	▲ 115.33	英10年債	1.9915	2.85bp
DAX	13,674.29	▲ 228.23	豪10年債	3.4840	8.70bp
ハンセン指数	20,001.96	▲ 791.44	USDJPY 1M Vol	11.25	▲0.30%
上海総合	3,001.56	▲ 66.20	USDJPY 3M Vol	11.33	▲0.10%
NY金	1,882.80	7.10	USDJPY 6M Vol	10.98	0.03%
WTI	109.77	1.51	USDJPY 1M 25RR	0.50	Yen Put Over
CRB指数	311.32	▲ 2.54	EURJPY 3M Vol	11.60	0.03%
ドルインデックス	103.66	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	11.48	0.08%

東京	東京時間のドル円は130.34レベルでオープン。日本株が前日比マイナス圏から浮上する動きを横目に、ドル円は130.80まで上昇。一巡後、米雇用統計を控える中、様子見ムードの展開となり、130.56レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ポンドドルは1.2344レベルにてオープン。英国の来年度マイナス成長見通しを背景に一時は1.2276まで売られた。その後はポジション調整にポンドが買われ1.2377まで値を上げた後、1.2336レベルにてNYへ渡った。ドル円は130.56レベルでオープン。ポンドドルやユーロドルが買われた事で、ドル円は下落。130.43レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場で一旦ドル買いが優勢となりドル円は130.80まで戻す局面もあったものの、その後はドルが売られたことから130.24まで反落し、130.43レベルでNYオープン。朝方は米4月雇用統計で失業率が3.6%と予想3.5%まで低下しなかったことや、平均時給(前月比)が予想を下回ったことから一旦130.16まで下落するが、時給に関しては前回分が上方修正されたことや非農業部門雇用者数変化が予想を上回ったこともあり、引き続き労働市場の需給がひっ迫していることが確認され、130.71まで戻す。その後は利益確定の売りが持ち込まれ130.20まで反落したが、午後は米長期金利が上昇する動きや、バーキン・リッチモンド連銀総裁が「75bpの支持を排除しない」と発言したことが伝わったこともあり、ドル円も130.63まで戻し、130.53レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いに一旦1.0483まで下落するが、1.0470がサポートと意識されていることから下げ渋り、今後はドル売りが持ち込まれたことから1.0592まで戻し、1.0566レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計結果を受けたドル売りに一旦1.0597まで戻すがその後ドルが買い戻され1.0548まで反落する。暫くは1.0580付近での推移が続いたが、午後に入り上昇していた米金利が更に上昇すると、ユーロドルは上値を重くし、1.0537まで下落し、1.0548レベルでクロスした。

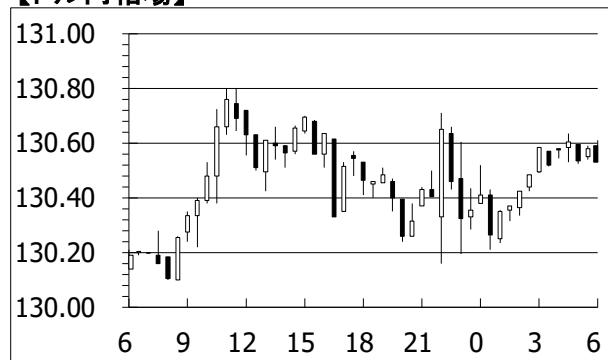
【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event		結果	予想
5月6日	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	4月	428k	380k
	21:30	米	失業率	4月	3.6%	3.5%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	4月	0.3%/5.5%	0.4%/5.5%

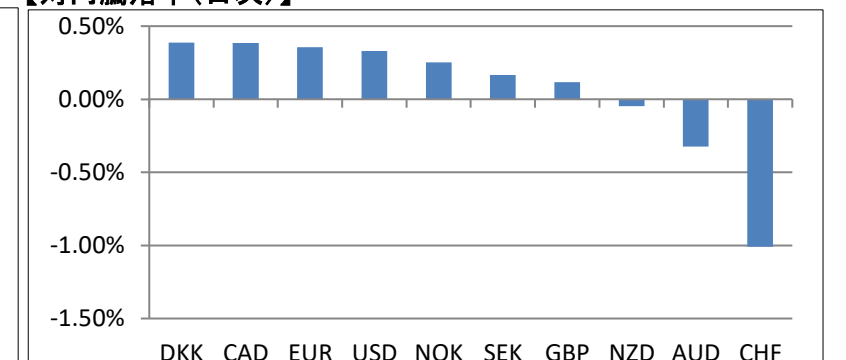
【本日の予定】

Date	Time	米	Event		予想	前回
5月9日	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	3月	2.3%	2.3%
	23:00	米	卸売売上高(前月比)	3月	1.8%	1.7%
		中	貿易収支	4月	\$51.90b	\$47.38b
		中	輸出/輸入(前年比)	4月	2.7%/-3%	14.7%/-0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.00-130.80	1.0480-1.0600	137.10-138.30

【マーケット・インプレッション】

東京時間は130.32レベルでオープン。日米金利差が意識されるとともに、連休中日の実需のドル買いが進み、ドル円は一時130.80円を付けた。その後、米金利上昇一服と米雇用統計を控えた持ち高調整もあり、130.68レベルで海外時間へ。海外時間には米4月雇用統計で予想比弱めの失業率や平均時給(前月比)に一旦130.16まで下落するが、平均時給に関しては前回分が上方修正されたことや非農業部門雇用者数変化が市場予想を上回り、ドル円は上昇。130.53レベルで海外時間を終えた。

本日のドル円は、堅調に推移すると予想する。4月雇用統計結果が市場予想を上回る結果であったことに加え、米金利が2018年11月以来の高水準に上昇したことを受け、ドル円は上昇基調が継続。また本日はロシアの対独戦勝記念日にてプーチン大統領の発言次第では、ウクライナ情勢への警戒感が高まり、リスクオフのドル買いに繋がりと、ドル円上昇圧力となる。一方先週、FOMC、雇用統計等材料出尽くし感はあるものの、景気後退感が出始めており、今週11日発表予定の米4月CPIにて物価上昇を確認する必要があるため、大幅な上昇とはならない可能性がある。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・小野崎